

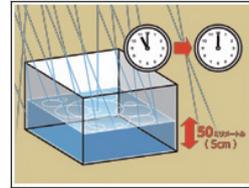
防災情報を正しく理解する

●天気予報でよく聞く、1時間に50ミリの雨ってどんな雨？



1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降るおそれがあります。

イラスト：気象庁提供



「1時間に50ミリの雨」というのは、雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態で、「1時間に雨水が50ミリメートルの高さまでたまる」規模の雨です。



「たった50ミリと思われるかもしれませんが、1平方メートルあたり50リットルになります。傘をひらいたときの面積が概ね1平方メートルなので、1時間傘をさしていると、傘には牛乳パック50本分の雨がたまることになります。

気象庁が発表する防災気象情報を正しく理解し防災に活用しましょう。

■ 雨の強さと降り方の目安

1時間の雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	地面一面に水たまりができる	ワイパーを速くしても見づらい
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる		
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘は全く役に立たなくなる	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴゴーと降り続く）		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる			

■ 風の強さと吹き方

風の強さ(予報用語)	平均風速(m/s)	およその時速	速さの目安	人への影響	建造物	およその瞬間風速(m/s)
やや強い風	10以上15未満	～50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる 傘がさせない	樋(とい)が揺れ始める	20
強い風	15以上20未満	～70km	高速道路の自動車	風に向かって歩けなくなり転倒する人も出る 高所での作業はきわめて危険	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある 雨戸やシャッターが揺れる	
非常に強い風	20以上25未満	～90km		特急電車	何かにつかまっていけないと立てられない 飛来物によって負傷するおそれがある	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある 固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる
猛烈な風	25以上30未満	～110km	屋外での行動は極めて危険			
	30以上35未満	～125km		外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある	50	
	35以上40未満	～140km			住家で倒壊するものがある 鉄骨建造物で変形するものがある	
	40以上	140km～				

出典：気象庁ホームページ 気象庁が天気予報等で用いる予報用語 (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo_hp/mokuji.html)

●現在の川の水位はどのくらい？

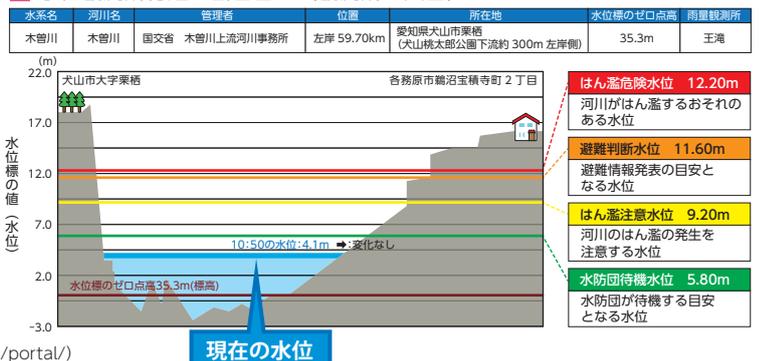
国土交通省ウェブサイト「川の防災情報」では、川の水位とはん濫の危険性をリアルタイムでお知らせしています。

川の防災情報 検索



出典：国土交通省 川の防災情報ホームページ (<https://www.river.go.jp/portal/>)

■ 水位観測所付近の断面図 (観測所：犬山)



防災情報を正しく理解する

●気象庁が発表する危険度分布を活用しよう

洪水警報の危険度分布とは

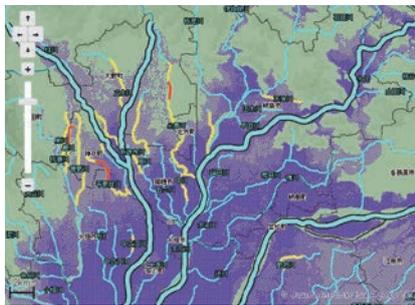
3時間先までの雨量予測を用いた流域雨量指数の予測値が洪水警報等の基準に到達したかどうかを地図上に5段階で色分け表示したもので、常時10分毎に更新しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

大河川が対象となる「指定河川洪水予報」も一緒に表示されます。



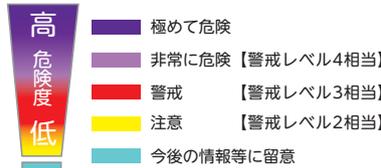
危険度分布 洪水 検索

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



表示例：気象庁ホームページ

洪水警報の危険度分布



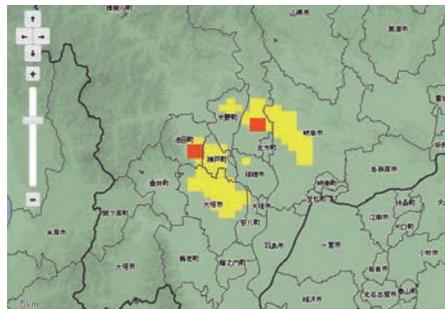
指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



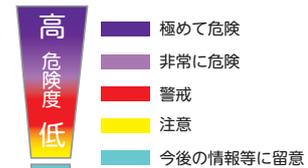
大雨警報（浸水害）の危険度分布とは

短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりの予測を示したもので、大雨警報（浸水害）等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。1時間先までの表面雨量指数の予測値が大雨警報（浸水害）等の基準値に到達したかどうかで、危険度を5段階に判定し、色分け表示しています。



表示例：気象庁ホームページ

大雨警報（浸水害）の危険度分布



危険度分布 大雨 検索

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

出典：気象庁ホームページ 知識・解説 (<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuknowledge.html>)

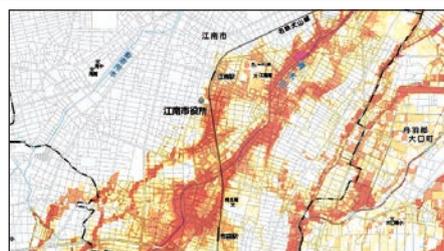


●どこがどのくらい浸水する危険性があるの？

本書の「浸水想定区域図」「浸水予想図」で確認できます。

木曽川	⇒ P.17~20
新川(青木川・五条川)	⇒ P.21~22
日光川	⇒ P.23~24
郷瀬川・新郷瀬川	⇒ P.25~26
入鹿池	⇒ P.27

ハザードマップの見方 必ず確認してください



警戒レベルと避難行動

警戒レベル

警戒レベルは、水害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市が避難情報と合わせて出す情報です。

それぞれの**警戒レベル**に相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立てましょう。



市からの**避難情報等の発令に留意**するとともに、避難情報等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。
警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル3や4の段階で避難**することが重要です。

○警戒レベル一覧

<避難情報等>		
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等
警戒レベル 5	命の危険 直ちに安全確保! 既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保 (市が発令)

~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~

警戒レベル 4	危険な場所から全員避難 速やかに洪水避難ビル(指定緊急避難場所)や近くの高い場所、自宅内の2階以上など、高い場所に避難しましょう。	避難指示 (市が発令)
警戒レベル 3	危険な場所から高齢者等は避難 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (市が発令)
警戒レベル 2	自らの避難行動を確認 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	災害への心構えを高める 災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

<防災気象情報>

警戒レベル相当情報(例)

警戒レベル5相当情報
氾濫発生情報(木曾川中流)
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報
氾濫危険情報(木曾川中流)
気象警報 等

警戒レベル3相当情報
氾濫警戒情報(木曾川中流)
気象警報 等

警戒レベル相当情報は、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
(国土交通省、気象庁、愛知県が発表)

逃げ時判断

あなたがとるべき行動は？

必ず取り組みましょう

平時に
確認して
おこう



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を平時より確認しておきましょう。

避難行動判定フロー

※ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

はい

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地にお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

災害の危険があるので、自宅の2階以上の屋内安全確保または自宅の外への立ち退き避難が必要です。

屋内安全確保

浸水の危険があっても、次の場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

- 1 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側にある。
- 2 自宅内に浸水する深さよりも高い場所(2階など)がある。
- 3 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある。

立ち退き
避難

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ



はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市が指定している洪水避難ビルに避難しましょう。



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市が指定している洪水避難ビルに避難しましょう。



避難先は小中学校だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

家族と話し合い、災害時の行動について○をつけて確認しておきましょう。

我が家は、警戒レベル 3 or 4 で 自宅の2階以上 or 安全な親戚や知人宅 or 洪水避難ビル(指定緊急避難場所) に避難します

洪水避難ビルとは、「命を守るため」に逃げる場所です。詳しくは、P.28をご参照ください。